

いなべ市 議会だより

第32号

平成24年2月1日

発行
三重県いなべ市議会
編集
議会広報編集委員会



北勢中学校の給食風景

「北勢・員弁中学校の給食実施により、
市内すべての小・中学校の給食が実施されました」

12月定例議会

- 議長・副議長・監査委員の就任……………P2
- 議会構成……………P3
- 常任委員会の審査結果……………P4～P6
- 反対VS賛成討論……………P7
- 議案の審議結果一覧表……………P7
- 議員発議が提出されました……………P8～P9
- 9人が一般質問……………P10～P14
- 議会運営委員会、総括質疑……………P15
- クイズ、議会広報編集委員会……………P16
- 編集後記、3月定例議会（予定）……………P16

議長に 太田 政俊氏 副議長に 川瀬 利夫氏が就任

12月定例議会の開会日(11月30日)に議長・副議長の選挙を行い、新議長に太田政俊氏(71歳・新政いなべ)、新副議長に川瀬利夫氏(56歳・政和会)を選びました。



議長
太田 政俊



副議長
川瀬 利夫

議長就任あいさつ

立春の候 市民の皆さまには、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。 さて私、12月定例議会におきまして、議長に就任させていただきました。

身の引き締まる思いですが、市民の負託に応えるため、議会の円滑な運営に努めるとともに、いなべ市の発展と市民福祉の向上に邁進する所存であります。

市議会への格別なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

いなべ市議会議長 太 田 政 俊

監査委員に種村正巳氏

12月定例議会において、議会選出監査委員として種村正巳氏(70歳・新政いなべ)を選出しました。

いなべ市の監査委員は議会選出の監査委員および識見を有する監査委員の2名。市財務に関する事務の執行や経営に係る事業の管理の監査などを行います。



新しい議会構成

平成24年2月1日現在

議 長	太田 政俊	副議長	川瀬 利夫
-----	-------	-----	-------

議会選出 監査委員	種村 正巳
--------------	-------

区 分	総務常任委員会	教育民生常任委員会	産業建設常任委員会
委 員 長	岡 英昭	位田まさ子	奥岡 征士
副委員長	清水 実	衣笠 民子	鈴木 順子
委 員	水谷 治喜	小川 克己	石原 瞭
	水貝 一道	小林 俊彦	林 正男
	種村 正巳	伊藤 正俊	伊藤 弘美
	清水 隆弘	小林 昌彦	多湖 克典
		川瀬 利夫	

区 分	委 員 長	副委員長	委 員	
議会運営委員会	伊藤 弘美	鈴木 順子	水谷 治喜	水貝 一道
			林 正男	岡 英昭
議会広報編集委員会	衣笠 民子	清水 隆弘	水貝 一道	林 正男
			奥岡 征士	位田まさ子

桑名広域清掃 事業組合協議会 議員	小川 克己			
桑名・員弁広域 連合協議会議員	水谷 治喜	岡 英昭	小林 俊彦	小林 昌彦

常任委員会の審査結果

改選された総務常任委員会



後列左から、清水隆弘 委員、水谷治喜 委員
水貝一道 委員
前列左から、清水 実 副委員長、岡 英昭 委員長
種村正巳 委員

付託案件の審査、12月12日（議案 5 件、請願 1 件）

- 部設置条例の一部改正（全員賛成）
- 税条例等の一部改正（全員賛成）
- 財産の無償譲渡について（藤原町・鼎区自治会への譲渡）.....（全員賛成）
- 平成23年度一般会計補正予算（第3号）（全員賛成）
- 平成23年度一般会計補正予算（第4号）（賛成多数）
- 所得税法第56条の廃止を求める請願（全員反対）

委員会での主な質疑

平成23年度一般会計補正予算（第4号）

Q 年間1,000万円も支払って借地をする目的は何か。



上空から見た野入溜（大安町門前地区）

A 使用収益権を持つことにより、自然保護を行なうためである。

※使用収益権とは…物をその用法に従って使用し、それから生ずる収益物を取得する権利です。

所得税法第56条の廃止を求める請願

Q 白色申告の方が、青色申告に変更すると何か不都合が生じるのか。

A 書類への記帳が煩雑になる。また、売り上げが多い場合は、従業員を継続して雇えるが、売り上げが落ちた場合には、雇えなくなる場合があり、小規模業者には難しい。

改選された教育民生常任委員会



後列左から、小林昌彦 委員、小林俊彦 委員
伊藤正俊 委員、川瀬利夫 委員
前列左から、衣笠民子 副委員長、位田まさ子 委員長
小川克己 委員

付託案件の審査、12月13日（議案 5 件）

- 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 ……………（全員賛成）
- 国民健康保険条例の一部改正 ……………（全員賛成）
- 平成23年度一般会計補正予算（第3号） ……………（全員賛成）
- 平成23年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号） ……………（全員賛成）
- 平成23年度介護保険特別会計補正予算（第2号） ……………（全員賛成）

委員会での主な質疑

平成23年度一般会計補正予算（第3号）

Q 各種健康診査事業 1 億円および藤原学校給食センター調理業務9,500万円の平成24年度から3年間の債務負担行為に関し、業者の決定はどのような方法で行うのか。

※債務負担行為とは…予算は単一年度で完結するのが原則ですが、1つの事業や事務が単年度で終了せずに後の年度においても負担（支出）しなければならない場合には、あらかじめ、後の年度の債務を約束することを予算で決めておきます。いわゆる「後の年度も支出するという約束行為」です。

Q 児童福祉負担金に関し、子ども手当の支給額が平成23年10月から改正されたが、どのように変わったのか、いなべ市への影響は。

A 各種健康診査事業は、一般公募型のプロポーザル方式、藤原学校給食センター調理業務については指名型プロポーザル方式を採用する。

※プロポーザル方式とは…業務の委託先などを選定する際に、複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定する方式です。



藤原学校給食センター

A 平成23年9月まで、0歳から中学校卒業までは子ども1人につき1万3,000円の支給であった。10月からは0歳から3歳未満が1万5,000円、3歳から小学校修了前については、1万円（第1子・第2子）と1万5,000円（第3子以降）、中学生が1万円となった。なお、いなべ市への経済的影響については、改正により下がるという認識でいる。

改選された産業建設常任委員会



後列左から、林 正男 委員、多湖克典 委員
伊藤弘美 委員
前列左から、鈴木順子 副委員長、奥岡征士 委員長
石原 瞭 委員

付託案件の審査、12月14日（議案 8 件）

- 青川峡キャンプパークの指定管理者の指定（全員賛成）
- 観光用駐車場の指定管理者の指定（全員賛成）
- いなべ市道路線の認定（全員賛成）
- 平成23年度一般会計補正予算（第3号）（全員賛成）
- 平成23年度農業公園事業特別会計補正予算（第2号）（全員賛成）
- 平成23年度市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）（全員賛成）
- 平成23年度下水道事業特別会計補正予算（第2号）（全員賛成）
- 平成23年度水道事業会計補正予算（第1号）（全員賛成）

委員会での主な質疑

いなべ市道路線の認定

Q 県道東貝野南中津原丹生川停車場線のバイパス化（鼓地区から東貝野地区の県道畑毛東貝野阿下喜線を結ぶ区間）にともない、従来の路線を県道から市道東貝野鼓線として市道へ移管するということが、市の管理になる前に事前調査を行い、舗装状況、修繕する箇所などがあった場合どこが対応するのか。

A 県とともに道路状態をみて、悪い部分は県に修繕を行ってもらってから、市への完全移管となる。



建設中の県道東貝野南中津原丹生川停車場線（鼓地内）

平成23年度一般会計補正予算（第3号）

Q 歳出の獣害対策・農地保全モデル事業費150万円の補正に関し、この事業は牛の放牧により、サルなどが来ないように農地を守るための事業ということだが、毎年継続していくのか。

A 本事業は獣害対策のみでなく、農地へ農家の人が牛に毎日餌を与えるために入ったり、子どもたちが見学に来たりするなど、トータル的に皆で農地を見守ることも目的とした事業である。今後については、検証を行いつつ成功すればどんどん進めていきたい。

反対 VS 賛成討論

本会議において反対・賛成の両方の討論があった議案は次のとおりです。

●平成23年度一般会計補正予算（第4号）（賛成多数 可決）

野入溜賃借料3,000万円を門前自治会に支払うため、補正を行うものです。

反対討論

清水 実 議員

「本当に自然保護を行なったのか」

昨年12月2日の最高裁判所の判決は、自然保護を全く無視し、企業の税金と雇用のみの不安定な材料を最優先した結果である。私も原告としては、物が言えない自然生態系の中で、供用開始後10年にして全滅していったナガバミズギボウシやリンドウをはじめ、動物類も含めた数十種類の亡霊が脳裏から消えず、裁判官の心の貧しいことが悲しく、また悔やまれてなりません。現実的に遷移が進行する不安定な環境であるだけに、今までほとんど何もせずに放置してきたことに対するこの補正予算には反対する。

賛成討論①

小川 克己 議員

「最高裁判所の判決により
借地料の支払いは当然である」

平成23年12月2日に最高裁判所において、上告人（市長）の主張であった税金の確保、雇用の創出、緑地の保全等の全てが認められた全面勝訴の判決であった。従って門前自治会との賃貸契約の履行は当然であり賛成討論とする。

賛成討論②

水貝 一道 議員

「最高裁判所の判決は尊重するが、
今後の賃借料は協議が必要ではないか」

最高裁判所の判決は重く受け止め尊重しなければならない。しかし、一つの自治会にどういう経緯があったにせよ、年間1,000万円の賃借料の支払いはあまりにも多額ではないのか。今後は行政と門前自治会と十分協議し、市民の納得のいく賃借料で契約することを要望し、この議案に賛成する。

議案の審議結果一覧表

賛成と反対に分かれた案件

～ 下記以外の23案件は全員賛成で可決しました ～

議長 太田 政俊は採決に加わらない。○は賛成 ×は反対 （付託委員会/総：総務常任委員会 教：教育民生常任委員会 産：産業建設常任委員会）

会 派			新政いなべ							政友クラブ			政和会			いなべ市議団 日本共産党		波 動		無 会 派	無 会 派	無 会 派
議 案 名	付託委員会	審議結果	小林 昌彦	岡 英昭	位田 まさ子	種村 正巳	伊藤 弘美	林 正男	太田 政俊	小林 俊彦	鈴木 順子	水貝 一道	多湖 克典	川瀬 利夫	水谷 治喜	衣笠 民子	石原 瞭	伊藤 正俊	奥岡 征士	小川 克己	清水 実	清水 隆弘
平成23年度一般会計補正予算 （第4号）	総	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
所得税法第56条の廃止を求める 請願	総	不採択	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×

12月20日の議会最終日に2件の発議案が提出され、採決の結果、両発議案とも全員賛成により国の関係機関へ意見書を提出することになりました。

国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書(案)

安心社会を構築するため、医療や介護の充実、子育ての支援の強化などに対する各種基金制度が設けられ、地方自治体における迅速かつ柔軟な取り組みに対して支援が行われてきました。しかし、こうした基金事業の多くが今年度限りで終了します。

特に、下記に掲げる基金については、多くの関係者から事業継続を求める声が上がっております。国民生活の安心と向上を図る上からも、こうした基金および基金事業を継続するよう、政府に強く求めます。

1 「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例基金」

地方自治体における子宮頸がん予防ワクチン、Hibワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種事業を財政支援する基金であり、ワクチン接種について予防接種法の対象疾病に位置付ける法改正が実現するまで継続すべきである。

2 「安心子ども基金、および妊婦健康診査支援基金」

保育所や放課後児童クラブなどの整備を後押しする安心子ども基金、および妊婦健診の負担軽減を図る妊婦健診支援基金について政府は、新たに創設する子ども・子育て新システムの中で対応するとしているが、具体的な中身が明らかになっておらず、当面は基金事業による対応が現実的であり、継続すべきである。

3 「安心子ども基金、および妊婦健康診査支援基金」

介護職員の賃金引上げなどを行うための基金として創設し、今年度末まで予算措置されているが、来年度以降の対応は、引き続き基金事業によるのか介護報酬によるのか方向性がまだ見えていない。介護職員の処遇改善は極めて重要な課題であり、介護報酬で手当てできない場合は、既存の基金を積み増しし、着実に賃金引上げなどに充てられるよう措置すべきである。

4 「障害者自立支援対策臨時特例基金」

障害者自立支援法の施行に伴う事業者の経過的な支援を行うため、平成18年度から20年度までの特別対策として実施し、その後、既存事業の拡充や新たな事業を盛り込み、今年度末まで延長されている。来年度以降も、新体系移行後の事業所支援やグループホーム等の設置補助などが必要であり、基金継続によって柔軟な支援をすべきである。

5 「地域自殺者対策緊急強化基金」

地域における自殺対策の強化を図るための基金として、電話相談窓口の充実など地方自治体における具体的な取り組みに活用されており、こうした取り組みを切れ目なく支援するため、継続かつ基金の積み増しが必要である。

平成23年12月20日

提出者 いなべ市議会議員 鈴木 順子
賛成者 いなべ市議会議員 水貝 一道
賛成者 いなべ市議会議員 小林 俊彦

鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書（案）

近年、野生生物による農作物の被害は深刻な状態にあり、その被害は経済的損失にとどまらず、農家の生産意欲を著しく減退させ、ひいては農村地域社会の崩壊を招きかねないなど、大きな影響を及ぼしています。

野生鳥獣による農作物被害額は、平成21年度において213億円で、前年度に比べて14億円増加しています。鳥獣被害全体の7割がイノシシ、シカ、サルによるもので、農作物の被害に止まらず、山林の荒廃を招き、豪雨時の土砂流出被害にもつながっているとの指摘もあります。

このような状況を踏まえ、国においては平成19年12月、議員立法（全会一致）により、「鳥獣被害の防止のための特別措置に関する法律」が成立。これに基づき鳥獣被害防止総合対策交付金の支給や地方交付税の拡充、都道府県から市町村への獲得許可の権限委譲など、各種支援の充実が図られました。

しかしながら、生息域の拡大を続ける野生生物による被害防止を確実なものとするためには、ハード・ソフト両面による地域ぐるみの被害防止活動や地域リーダー、狩猟者の育成、被害農家へのより広範な支援などの対策の強化が不可欠です。

また、野生生物の保護並びに被害防止対策のための適切な個体数管理の上からも、正確な頭数の把握は欠かせませんが、その調査方法はいまだ十分なものとはいえず、早期の確立が望まれます。

- 1 地方自治体が行う被害防止施策に対する財政支援を充実すること。
- 2 現場では有害鳥獣対策についての専門家が不足していることから、専門的な知識や経験に立脚した人材の養成及び支援策を講じること。
- 3 有害鳥獣の正確な生息数の把握ができる調査方法を確立すること。
- 4 効果的な野生鳥獣被害防止対策を構築すること。

平成23年12月20日

提出者 いなべ市議会議員 鈴木 順子

賛成者 いなべ市議会議員 水貝 一道

賛成者 いなべ市議会議員 小林 俊彦



獣害用檻

一般質問

あなたの声を市政に

12月5日、6日に9人の議員が一般質問を行いました。
なお、一般質問の全内容は後日、市のホームページ、「市議会のページ」、「会議録検索システム」から閲覧することができます。



新政いなべ

岡 英 昭

- 1.まちづくりの政策を問う
- 2.小学校を統合すべき時期では
- 3.インクルーシブ教育の推進を

【質問1】 ①動物園の誘致は。②(株)サラダコスモの誘致は。③北勢線の存続は。

【①市長、②③都市整備部長】 ①前林工業団地用地に市立動物園として、運営を現在の大内山動物園に指定管理者とし、観光地宇賀溪と連携して相乗効果で集客を図る。自然豊かで動物とのふれあいのできる場やレストラン等附属施設と水利権の調整を含め推進したい。②水質や員弁川の豊富な水利の導水路課題を関係機関との許認可をクリアし誘致したい。その後は、高齢者等の安定した雇用の確保や旬の食材が提供されるように努めたい。③沿線市町の重要な交通であり、平成25年度以降も存続を前提に沿線市町と連携して支援をしていく。

【質問2】 文部科学省から学校統合への後押しとして、「学校統合事例集」が配布された。文部科学省

の策定している安定的な学級規模に合わせて、小学校を統合すべき時期では。

【教育長】 学識経験者による学校適正化規模検討委員会（仮称）を設け、合併特例債の5年延長案もあり、新校舎建設を含め複式学級の解消、小学校の統合へのビジョンを描く。

【質問3】 来年度より「くわな特別支援学校」が開校するが、市内小中学校のインクルーシブ教育への具体化は。

【教育次長】 障がい者と障害のない人が、ともに学ぶ教育へ障害の種別に合わせ教員の専門性を高め、多様な教育整備を行っていく。



平成24年度で沿線市町からの運営補助金がなくなる北勢線

1.ボランティア活動を
問う

2.市内の学校の状況は



新政いなべ

位田まさ子

【質問1-1】 各町で始まったミニサロンについて、高齢化社会が進み、無縁社会を防ぐ意味からも地域力を強くするミニサロンに公的援助はないのか。①各町の団体数、取り組みに至る経過。②どのように管理するのか。責任は。

【市長】 地域の高齢者が規制のない、ゆっくりした「居場所作り」として立ち上げてもらう。公的な支援はないので、費用をかけず無理をせず長く続けてほしい。

【福祉部長】 ①北勢10、員弁8、藤原2、大安4、計24カ所の老人の引きこもり、社会参加できない高齢者のため。②社協はサロンの人材育成、サポーター育成など。責任はボランティア保険の加入を検討する。

【質問1-2】 「ありがとう券」について①登録ボランティアに配布した券の状況は。②期待される効果は。③券のあたえる商工会員のメリットは。

【福祉部長】 ①社協の登録ボランティア団体に950枚、個人には配布していない。②3月11日大震災、台風12号のボランティアに配布。ボランティアのすそ野が広がるように。③券加入22店舗、商工会で店舗に1枚100円の補助。使用数現在15枚。

【質問2】 市内小・中学校の状況は、ゆとりから脱却は。

【教育長】 全体として生活面は落ち着いている。学校満足度、学力調査ともに全国平均より上回る。教科書の授業も週1時間増え、生きる力の育成に力を入れる。



畑新田自治会ミニサロンのようす

1.市民の命を守るために

2.市の防災対策を問う



政友いなべ

鈴木順子

【質問1】 ①65歳以上の方が、肺炎球菌による肺炎での重篤化を防ぐために、ワクチン接種に助成を。②心配される放射能汚染による食材の対応と保護者への周知は。アンケート調査をし、子どもたちの声を聞いてほしい。

【福祉部長】 ①肺炎球菌ワクチン接種は、来年度助成の実施を検討している。

【教育次長】 ②国や県の放射性物質の検査結果や出荷制限等の情報に留意し、食材の安全確保に努めている。学校給食会等を通じて保護者に説明し、保護者から要望があれば個別に対応している。国民が不安にならないよう国の検査体制を要望。子どもたちに、給食について満足度調査をする。

【質問2】 ①避難場所案内板の総点検と改修を。②同報無線による緊急時の対応と統一は。③大地震時、住民の誰もが避難場所の鍵を取り出せるよう「鍵ボックス」を活用しては。④防災対策強化のためのいなべ市の体制は大丈夫か。

【総務部長】 ①今年度から中部電力、NTT西日本と協定を締結し、電柱を利用して誘導看板を設置する。周知は広報誌・防災訓練等を活用。②コミュニティFM放送を利用し、同報機能と緊急防災情報を兼ね備えたシステムとして構築を検討している。③来年度、三重県地域減災力強化推進補助金を活用し「鍵ボックス」を検討する。④総務部の中に危機管理室のようなものを創設して対応する必要がある。



市内の全小・中学校で始まった給食(北勢中学校)



政和会

水谷 治喜

今後も保育所(園)を 民営化していくのか

【質問】 市はこれまでに、市職員の削減と国からの民間保育所運営補助金を得るため、市立保育所(園)を社会福祉協議会へ施設の無償譲渡も含め移管してきたが、今後の計画はどうするのか。すべての保育所(園)を民営化にするのか。

【健康こども部長】 今後の年次的な計画はないが、すべて民営化する計画である。

【再質問】 ①民営化計画について5年スパン、10年スパンの計画がどうしてできないのか。②今後の民営化先も社会福祉協議会なのか。③仮に民営化の最大のメリットでもある国からの私立保育所運営補助金が廃止されても民営化を進めるのか。

【市長】 ①状況を考慮しながら民営化を進める。②今後も社会福祉協議会への民営化を進める。③私立

保育所運営補助金が廃止されても保育園の民営化は進める。

【再質問】 思い付きの民営化でなく、5年、10年のスパンで計画を立案し、メリット・デメリットを提示し、民営化計画を市民に公表するべきではないのか。



社会福祉協議会へ無償譲渡し、民営化された丹生川保育園



波動

奥岡 征士

- 1.土地開発公社の存続意義は
- 2.交通機関の状況と将来展望は
- 3.災害において市の果たす役割は

【質問1】 土地開発公社は、公共用地の先行取得として設立され成果を果たしてきたが、その目的は終わった。また、本年から役員はすべて市の職員となり、チェックが効かない組織となったが、東員町の脱退を契機に見直し、解体を検討してはどうか。

【都市整備部長】 土地開発公社は、進出企業の要望にそってスピーディーな対応が可能であり、解体は考えていない。また、当公社は全国的にも珍しい無借金経営である。

【市長】 合併特例債の適用期間が延長され、公社の存在は有意義である。議会在り事を辞任したことで、役員を改選したが透明性は確保し、定款の見直しも行う。

【質問2-1】 石樽トンネルの開通後の東近江市と

いなべ市の状況はどうか。当市の経済効果と将来に期待するものは。

【企画部長】 東近江市とは、行政・各種団体が頻繁に交流を行い効果が見えつつある。

【市長】 現下の経済状況では、輸出企業の誘致は難しいため、観光などの3次産業の進出を期待している。

【質問2-2】 北勢線の継続をどうするか。高齢化が進む中で、福祉鉄道として継続を願う声が多い。

【都市整備部長】 北勢線対策協議会で本格議論に入る。

【質問3】 地形的に恵まれた当市は、被災地の後方支援の役割をすべきだが。

【総務部長】 近隣市町と相互支援協定を結んで災害時に備えている。



東近江市との相互
応援協定の調印式

- 1.障がい者が安心して住み続けられるまちに
- 2.子ども・子育て新システムの危険性を問う
- 3.地域景気対策・住宅リフォーム助成制度の実施を求める



日本共産党いなべ市議団
衣笠民子

【質問1】 ①乳幼児からの療育を。②障がい児の放課後、休校日のデイサービスを。③成人障がい者の居住地・ケアホームを。

【福祉部長】 ①乳児は病院での対応が基本。そのなかで保健師が関わっていく。②日中一時支援が平成23年4月から9月の実績で26人。実施事業所は市内4カ所、市外5カ所。③「なでしこ」に11床、手まり花に2床、高柳ホームに1床の空き。

【質問2】 ①市内の保育所(園)の加配状況、誇るべき特徴、延長保育の実態・料金は。②子ども、子育て新システムの影響を問う。

【健康こども部長】 ①148名の園児に対して70名。待機児童を発生させない。とぎれのない支援。国基準の延長保育は大安中央保育園とゆめのみ保育園。

他では市基準の延長保育を行っている。料金は取っていない。②保育認定を受けた子どもと受けない子どもと定員を分けて設定。定員を超えた場合は、国の選考基準で選考。全国一律の応益負担。いなべ市は近隣より保育料が低いので、高くなる可能性。親の勤務状況等で保育料が決められるので、今より少ない時間しか受けられない子どもが発生すること。

【質問3】 伊勢市、亀山市、朝日町で実施。実施自治体が増えている。いなべ市でも少額の予算から始めてみては。

【副市長】 不良工事への不安を解消する施策ができてから検討していきたい。



市内保育園

- 1.医療費助成を今後どうするのか
- 2.道路除雪作業に基準があるのか
- 3.北勢斎場の賃貸料は適正か



日本共産党いなべ市議団
石原 瞭

【質問1】 県は、平成24年9月から小学校卒業まで医療費助成を拡大するが、いなべ市はどうするか。高齢者の肺炎球菌ワクチン接種に助成を。ジェネリック薬は、いなべ総合病院で使用可能か。

【市民部長】 小学校卒業まで通院・入院の助成を平成24年9月から実施する。ジェネリック薬は一部対応している。

【福祉部長】 来年度の実施に向けてワクチン接種助成を検討する。

【質問2】 道路除雪の基準と問題点は。

【建設部長】 除雪の目安は積雪10cm以上。土木業者が減少しているため、時間がかかる傾向。

【質問3】 賃貸契約の経過、主な借地単価、迷惑施設のあり方は。

【市民部長】 北勢斎場は、阿下喜森林組合からの借地契約更新日は平成22年4月までだが、双方の額の差が大きく、使用は可能だが一時保留となっている。主な借地単価は、斎場110円、北勢土砂がれき場72.71円、粗大ゴミ場61.54円、あじさいクリーンセンター431.25円(1㎡/年)。このような施設は、市民にとって必要不可欠な施設であり、細心の注意が必要だと考えている。今後、理解が得られるよう努力していく。



北勢斎場



無会派

清水 実

1. コミュファへの利用が増えているようだが対応策は
2. 藤原鉱山開発に関する意見陳述の検討結果は
3. 藤原鉱山開発に関する情報交換会を開催してほしい

【質問1】 最近CTYからコミュファへの回線に若者層を中心に利用を乗り換える人が増え、職員の間にも広がりつつあるが、その対応策はどうか。

【企画部長】 企業秘密で答えられないが、コミュファは高速で安価であり、利用者が増加すると思うが、市がとやかく言う問題ではない。

【質問2】 藤原鉱山開発に関する意見陳述の検討結果の具体的な答えは。

【教育次長】 教育委員会が答える立場ではないが、天然記念物の生態系保全に対する意見を含め、11月28日に県に提出した。カモシカ4個体の事故死現場には行っていない。準備書を信用して対応した。

【質問3】 藤原鉱山開発に関して、藤原岳自然科学館運営委員会との情報交換については、運営委員長によると情報交換会の開催は、教育長が決定することであり、運営委員会は中立の立場でもあり、市から補助金をもらっているの、情報交換会は開催できないと言っている。また、藤原岳自然科学館館長は、教育長が情報交換会を開催しなくて良いと言いい、その理由は運営委員会の仕事ではないから。

【教育長】 運営委員長が委員会を開き、情報交換会をしなくてよいと決めたから、また個人で情報交換をするのがよいが、公で実施することはだめだとの判断は正しいと思っている。また議会でのやりとりについては運営委員長に直接伝える。



カモシカ (多志田谷)



無会派

小川 克己

同報無線 (広報無線) の状況を問う

【質問】 同報無線 (広報無線) の状況を問う。

【総務部長】 各町の現在の状況で、北勢町では、個別受信機が導入されておらず、北勢町を除く3町の施設は20年以上経過しており、保守管理においても部品の調達等で支障が出ている。藤原町では、屋外スピーカーの替わりに個別受信機が全戸配布されているが、在庫が少なくなり転入者への配布もできなくなる。員弁町内では、共鳴して聞き取れない状況を緩和するために時差放送を行っている。藤原町内は、個別受信機があり、屋外スピーカーは少なく、共鳴の問題は少ないと考えている。北勢町、大安町内は、屋外スピーカーの共鳴を緩和するため、員弁町と同じような時差放送を行うように現在調査を行い、実施に向けて調整をしている。

今後の計画としては、今回の東日本大震災の被災

地では、さいがいFMが災害情報や緊急防災情報などをきめ細かく放送していることから、いなべ市もコミュニティFM放送を利用した同報機能と緊急防災情報を兼ね備えたシステムの構築を検討している。FM放送は、市販のラジオや車のラジオでも聴取できることから、難聴問題も解除できると考える。今年度はFM電波の受信調査を実施するとともに、東海総合通信局へ周波数の割り当てが可能であるかの確認と予備免許の申請を進めて開局を目指したいと考えている。



同報無線 (広報無線)

議会運営委員会



後列左から、林 正男 委員、水谷治喜 委員
岡 英昭 委員
前列左から、鈴木順子 副委員長、伊藤弘美 委員長
水貝一道 委員

議会運営委員会では、議会運営を効率的に行うため、意見調整や議事の取り扱いの協議などを行います。

総括質疑

議案の審査を委員会に付託する前の本会議（12月12日）において、議案に対する総括質疑を行いました。質疑を行った議員は次の3人でした。

衣笠 民子 議員

1. 平成23年度一般会計補正予算（第3号）

石原 瞭 議員

1. 平成23年度一般会計補正予算（第3号）

清水 実 議員

1. 平成23年度一般会計補正予算（第3号）
2. 平成23年度農業公園事業特別会計補正予算（第2号）

市議会議員補欠選挙において当選されました

平成23年11月27日執行の市議会議員補欠選挙におきまして、清水隆弘氏が当選されました。

住 所：大安町梅戸

自 治 会：梅戸

年 齢：37歳

所属会派：無会派

当選回数：1回

趣 味：車中泊旅行、読書全般

抱 負：市議会、政治のイメージを変えます。

そして、いなべの可能性を広げ、保障するために生涯

「政治家」でいます。「温故知新」の精神でがんばります。



清水隆弘 議員

クイズ

問1 常任委員会はいくつあるでしょうか。

問2 業務の委託先などを選定する方法は。

プロ○ーザル方式

問3 市内の全小・中学校で給食が開始
されました。
最近開始された学校は。

員弁中学校と ○○中学校

答えはすべて「紙面の中」にあります。
ぜひ、ご応募ください。

応募方法

官製はがきに「答」・「住所」・「氏名」・「年齢」を記入し
てお送りください。

正解者の中から抽選で15名の方に「図書カード」を
プレゼントします。

☆あて先 〒511-0292

いなべ市大安町大井田2705番地

大安庁舎内 いなべ市議会 議会事務局

☆締切日 平成24年2月24日(金)《当日消印有効》

※応募いただく「はがき」にスペース(空白)ができまし
たら、「議会だより」や「議会」に対するご意見やご感
想もぜひお書きいただき送付ください。

なお、「はがき」にご記入いただいた個人情報に
つきましては、目的以外に一切使用いたしません。



議会広報編集委員会

私たちが1年間「議会だより」作成を担当します。

後列左から、位田まさ子 委員、林 正男 委員
水貝一道 委員

前列左から、清水隆弘 副委員長、衣笠民子 委員長
奥岡征士 委員

編集後記

議会内の申し合わせで、1年ごとに議長、副議長、委員会等の議会構成の改選が行われます。12月議会がその時期に当たるため、今号では、新しくなった議会構成を掲載しました。

「議会広報編集委員会」も新しいメンバーとなり、委員一同、これまで以上に分かりやすくみなさんと議会を結ぶ広報誌にしていきたいと作成に取り組みました。

市議会では、1名欠員があったため、昨年11月に補欠選挙が行われ、清水隆弘氏が当選し、20名、フルメンバーとなりました。一層、注目していただき、クイズへの参加とともに、はがきにご意見を書いてお寄せいただけたら幸いです。

3月定例議会 (予定)

◆開会日		月	日	()
代表質問		月	日	()
代表質問 (予備日)		月	日	()
一般質問		月	日	()
一般質問 (予備日)		月	日	()
総括質疑		月	日	()
総務常任委員会		月	日	()
教育民生常任委員会		月	日	()
産業建設常任委員会		月	日	()
◆閉会日		月	日	()

皆さんからのご意見、
ご感想をお待ちしております。

連絡先

〒511-0292

三重県いなべ市大安町大井田2705番地

いなべ市議会 議会事務局

TEL(0594) 78-3515/FAX(0594) 78-3516

<http://www.city.inabe.mie.jp/~gikai/>